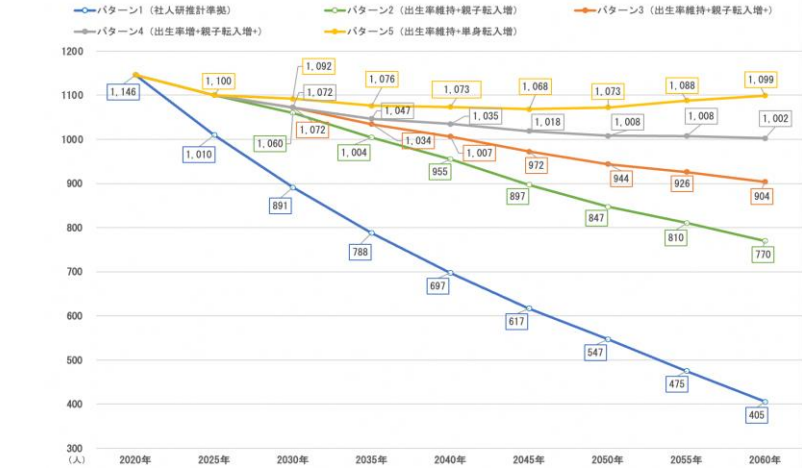
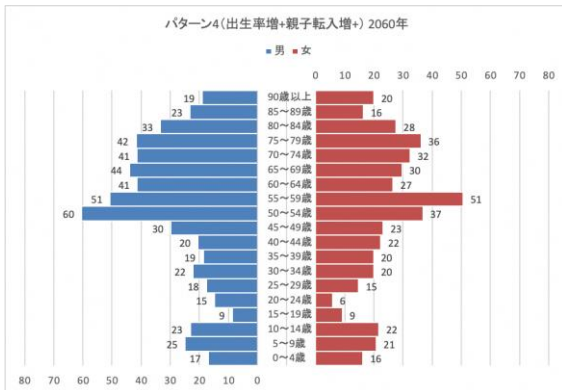
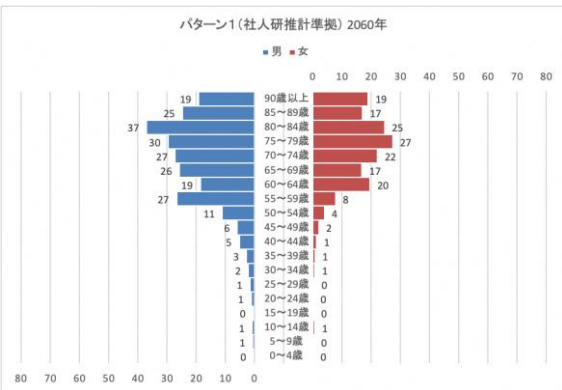


北川村 人口ビジョン（素案） 概要と目指す姿

《将来人口シミュレーション》



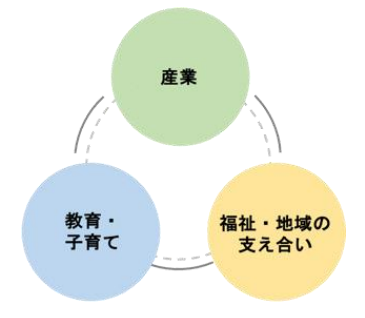
《2060年におけるパターン1（現状の人口減少傾向が継続した場合）とパターン4（目標人口水準）の5歳階級別人口》



- シミュレーションの主な条件
- パターン1：社人研推計準拠（現状の人口減少傾向が継続した場合の推移）
- パターン2：合計特殊出生率は現状維持、若者（親子含む）の転入増加・転出抑制：20～44歳:5歳階級ごとに男女合計4名/5年、0～4歳:男女合計2名/5年増加
- パターン3：合計特殊出生率は2030年～2055年に0.1増/5年（2055年で1.94）、若者（親子含む）の転入増加・転出抑制：20～44歳:5歳階級ごとに男女合計6名/5年、0～4歳:男女合計3名/5年増加
- パターン4：合計特殊出生率は2030年～2055年に0.1増/5年（2055年で1.94）、2030年までは若者（親子含む）の転入増加・転出抑制：20～44歳:5歳階級ごとに男女合計6名/5年、0～4歳:男女合計3名/5年増加、2030年以降は20～44歳:5歳階級ごとに男女合計8名/5年、0～4歳:男女合計4名/5年増加
- パターン5：合計特殊出生率は2030年～2055年に0.1増/5年（2055年で1.94）、若者（親子含む）の転入増加・転出抑制：20～44歳:5歳階級ごとに男女合計10名/5年増加

パターン4をもとに、2060年に人口約1,000人の維持を目標人口とする

《ビジョンを実現するための2060年の村の状態》



第3次総合戦略における基本目標

「千人の家族が子どもを育む ゆず王国北川村」

産業

- 所得が確保されたうえで、ゆずの一大産地として持続可能な生産・技術継承体制が確立。
- 地域産業・経済活動が活性化しており、働く場及び一定の生産年齢人口を維持。

基本目標Ⅰ
ゆずを中心とした産業振興・村民の所得向上

基本目標Ⅱ
新しい人の流れをつくる

教育・子育て

村の地域資源等を活用した特色ある教育、子育て世帯の働きやすき環境整備が進められており、年少人口が維持。

基本目標Ⅲ
北川村らしい魅力ある子育て・教育環境をつくる

福祉・地域の支え合い

福祉環境・地域の支え合いが充実しており、高齢者も元気に村内で暮らし続けている。

基本目標Ⅳ
地域の支え合いや自立による村民の暮らしを守る

北川村 第3次総合戦略（素案） 概要

将来人口目標 最終成果目標 2060年時点で人口約1,000人の維持 【人口減少抑制に向けた最終成果目標】 若年層（20～44歳）転入者数・転出抑制：2030年まで6名/年、2030年以降8名/年 高齢者（75～84歳）転出抑制数：5年間で2名 合計特殊出生率：2030～2055年まで5年ごとに0.1増（2055年1.94）		
基本目標と指標項目	基本方針	施策：取組例
基本目標Ⅰ ゆずを中心とした産業振興・村民の所得向上	（１）包括的な施策による農業所得向上	①園地の確保：園地流動化推進、農地改良支援等 ②生産環境の強化：データ活用型スマート農業導入等 ③販売力の強化：産地ブランディング、地産外商推進等
	（２）起業家農業者の育成	①担い手の確保・育成：村独自の就農支援等
	（３）産業全体の振興	①農業の振興：遊休農地解消等 ②林業の振興：林業の活性化、従事者受け入れ・育成等 ③観光の振興：三大観光施設等を活用した交流人口拡大等
基本目標Ⅱ 新しい人の流れをつくる	（１）地域産業の振興と担い手の確保	①移住者受け入れ強化：情報発信強化、多様な人材受け入れ（起業人材等）、お試し移住・体験移住促進等
	（２）村の魅力・資源を活かした生業づくり	①生業づくり支援：起業支援プログラム実施等 ②事業立ち上げ、事業継続支援：事業者ネットワーク構築等
	（３）住環境の整備	①多様な住まい環境の提供・支援：角木団地造成、移住定住促進補助金、空き家活用等
基本目標Ⅲ 北川村らしい魅力ある子育て・教育環境をつくる	（１）子育てしやすい村づくりの推進	①子育て支援の強化：子育て中の親への支援等 ②子育て世代向けの情報発信：子育て環境のPR等
	（２）子育て・教育ビジョン実現のための保小中一体的な取り組み	①子育てしやすい、特色ある教育の推進：保小中一体化の推進、特色ある教育の推進、多様な価値観を育む機会提供等
基本目標Ⅳ 地域の支え合いや自立による村民の暮らしを守る	（１）各ライフステージで切れ目ない健康づくり	①健康寿命延伸に向けた生活支援：食育・運動を通じた健康づくりの推進、各種健診の受診促進等
	（２）集落再生	①集落の生活維持・活動推進：集落活動の活発化等
	（３）地域生活の基盤確保	①脱炭素化の推進：小水力発電等の再エネ供給、雇用創出等 ②防災体制の推進：防災意識向上、住宅耐震強化 ③交通環境の維持・強化：利用しやすいサービスの提供 ④業務効率化：サービス向上のための業務効率化等